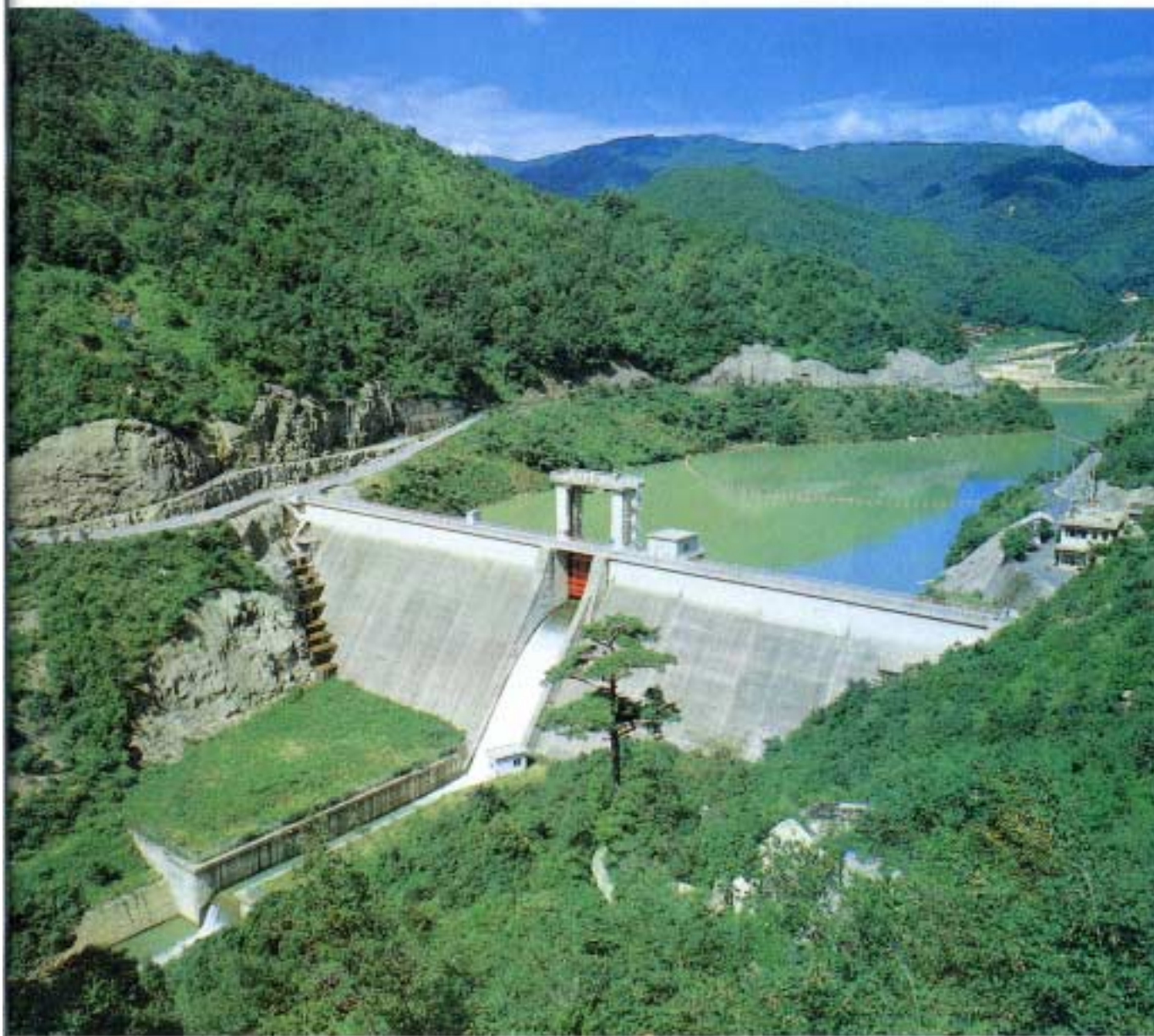


野呂川ダム



広島県呉地域事務所建設局
野呂川ダム管理事務所

〒729-25 広島県豊田郡安浦町大字中畑641-11
TEL (0823) 84-3116 FAX (0823) 84-6850

のろがわ 野呂川ダム 概要

野呂川は広島県東部の瀬戸内海に面する野呂山（標高833.6 m）に源を発し、下流安浦町の中心部の家屋密集地帯を貫流して瀬戸内海に注ぐ流路延長10km、流域面積43.2km²の河川である。

野呂川下流部は、昭和27年から昭和33年度にかけて、計画高水流量175 m³/secで河川改修がなされているが、台風及び集中豪雨時にはしばしば洪水による被害を蒙っている。

特に昭和42年7月の集中豪雨による被害はいちじるしく、破堤溢水による公共土木施設、公共施設及び人家等の被害は甚大であった。

このため昭和42, 43年度には災害関連事業として計画高水流量233 m³/secで部分的に河川改修が行なわれたが、近年の度重なる集中豪雨などによる出水状況からして、今後このような洪水が起った場合は再度災害を蒙ることは必至である。

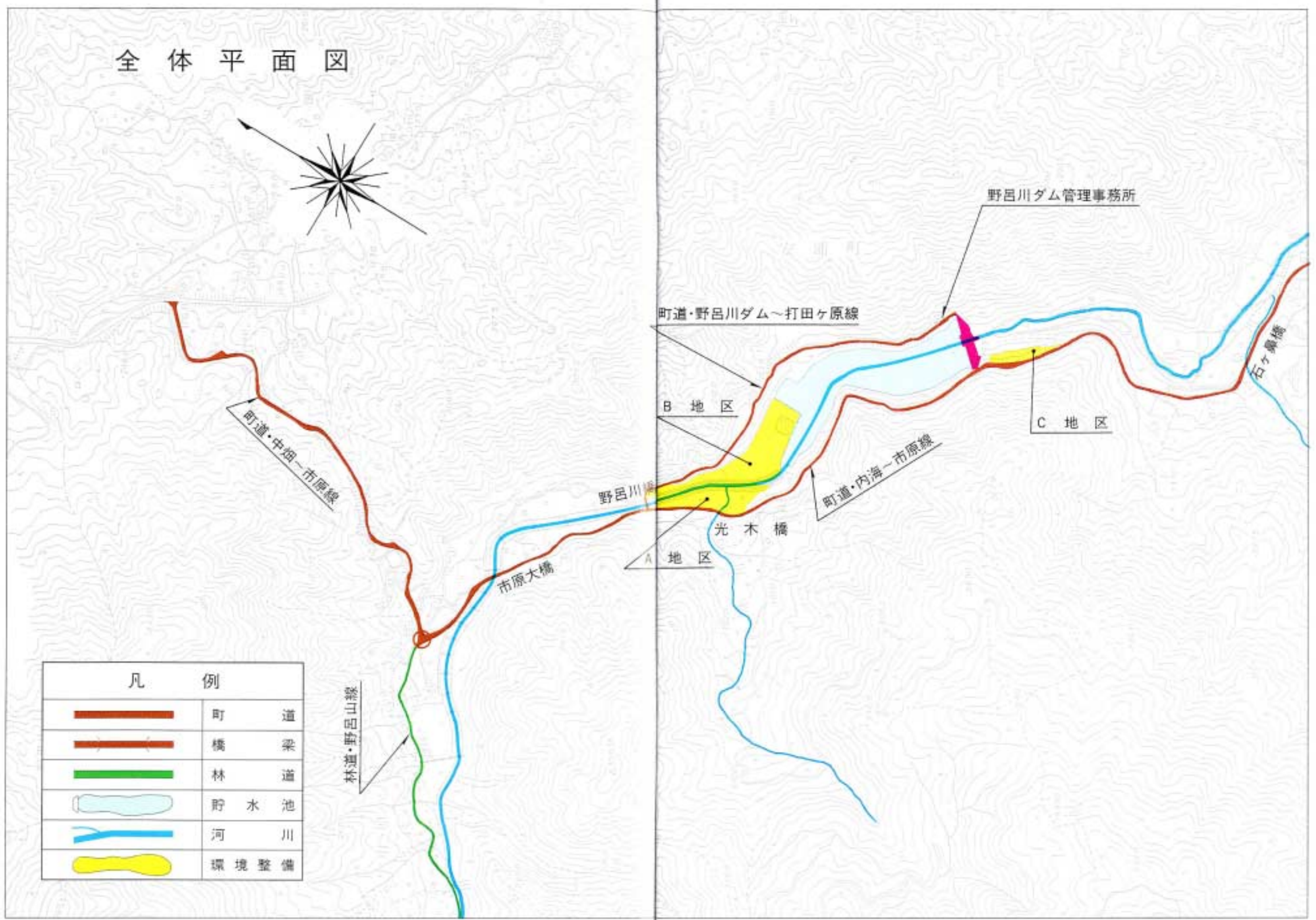


このため、恒久的抜本的措置として基準地点の計画高水流量を $400\text{ m}^3/\text{sec}$ に改定し、安浦町大字中畑字市原地区に治水ダムを建設し、ダム地点の計画高水流量 $300\text{ m}^3/\text{sec}$ のうち、 $190\text{ m}^3/\text{sec}$ をカットして、基準地点における計画高水流量 $400\text{ m}^3/\text{sec}$ を $230\text{ m}^3/\text{sec}$ としてダム地点下流の水害を防除するとともに、野呂川下流沿岸の 60.87ha の耕地に不特定かんがい用水の確保を目的とし、昭和44年度より国庫補助をうけて調査を始め、昭和51年3月まで7年の歳月と23億2千万円の建設費を投じて完成された。

事業の経緯

| | |
|----------|--------------------|
| 昭和44年 | 予備調査に着手 |
| 昭和45年5月 | 実施計画調査に着手 |
| 昭和46年7月 | 野呂川ダム建設事業所開設 |
| 昭和47年5月 | 補償基準書調印 |
| 昭和47年10月 | 町道付替道路工事に着手（1.2工区） |
| 昭和47年12月 | ダム本体工事に着手 |
| 昭和48年6月 | 町道付替道路工事完成（1.2工区） |
| 昭和49年2月 | ダム定礎式 |
| 昭和50年11月 | 付替道路3工区に着手 |
| 昭和50年12月 | 試験湛水開始 |
| 昭和51年3月 | 付替道路3工区完成 |
| 昭和51年3月 | 野呂川ダム竣工式 |

全体平面図



| 凡 例 | |
|-----|---------|
| | 町 道 |
| | 橋 梁 |
| | 林 道 |
| | 貯 水 池 |
| | 河 川 |
| | 環 境 整 備 |

林道・野呂山線

野呂川ダム管理事務所

町道・野呂川ダム～打田ヶ原線

B 地区

C 地区

町道・内海～市原線

市原大橋

野呂川

光木橋

A 地区

石ヶ鼻橋

ダム及水源地諸元

| 項目 | 数 | 値 | 項目 | 数 | 値 |
|--------|------|------------------------------|------------|---|-------------------------|
| 河川名 | 二級河川 | 野呂川水系野呂川 | 岩質 | | 石英斑岩(高田流紋岩類) |
| ダム位置 | | 広島県豊田郡安浦町大字中畑宇市原 | 集水面積 | | 13.00km ² |
| 型式 | | 重力式コンクリートダム | 湛水面積 | | 0.14km ² |
| 堤高 | | 44.80m | 総貯水量 | | 1,700,000m ³ |
| 堤長 | | 170.00m | 有効貯水量 | | 1,200,000m ³ |
| 堤体積 | | 96,300.00m ³ | 治水容量 | | 1,050,000m ³ |
| ダム勾配 | | 上流1:0.1 上流断層部1:0.75 下流1:0.75 | 常時満水位標高 | | 124.40m |
| 堤頂の標高 | | 135.80m | サーチャージ水位標高 | | 134.40m |
| 越流頂の標高 | | 124.40m | 計画洪水流量 | | 300m ³ /sec |
| 基礎岩盤標高 | | 91.00m | | | |

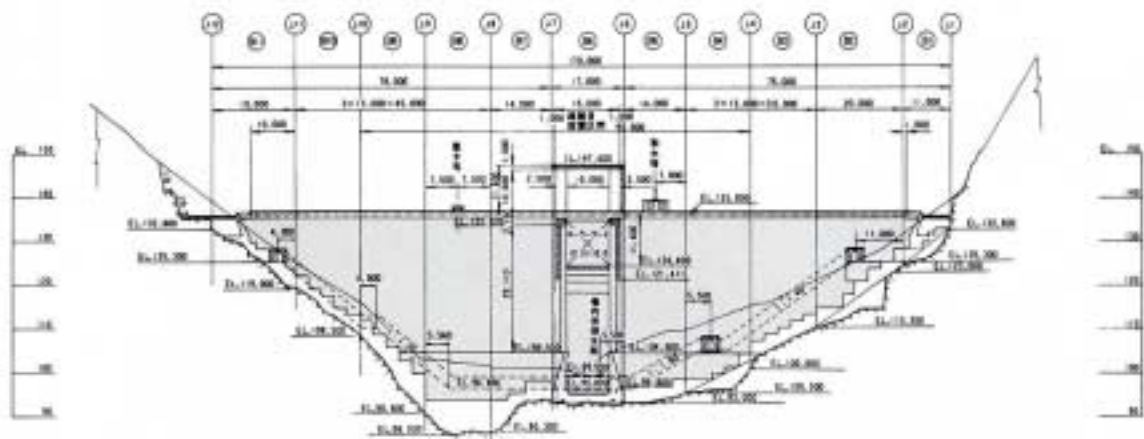
放流及管理施設

| | | | |
|--------|---------------------------|---------|-------------|
| 洪水吐ゲート | ローラーゲート 高さ10.3m 幅10.0m 1門 | 受電設備 | 6.6KV・61KW |
| | 角落しゲート 高さ1.0m 幅10.0m 7枚 | 放流警報施設 | 5ヶ所 |
| 表面取水設備 | ローラーゲート 高さ5.1m 幅2.0m | 水位観測所 | 3ヶ所 |
| | 取水口ゲートφ0.70m 4門 | 警報車 | 1台 |
| 放水バルブ | ホロージェットバルブ 0.80m 1門 | 防災・行政無線 | 無線電話・複写装置一式 |
| 予備電源施設 | 220V・50KVA | | |

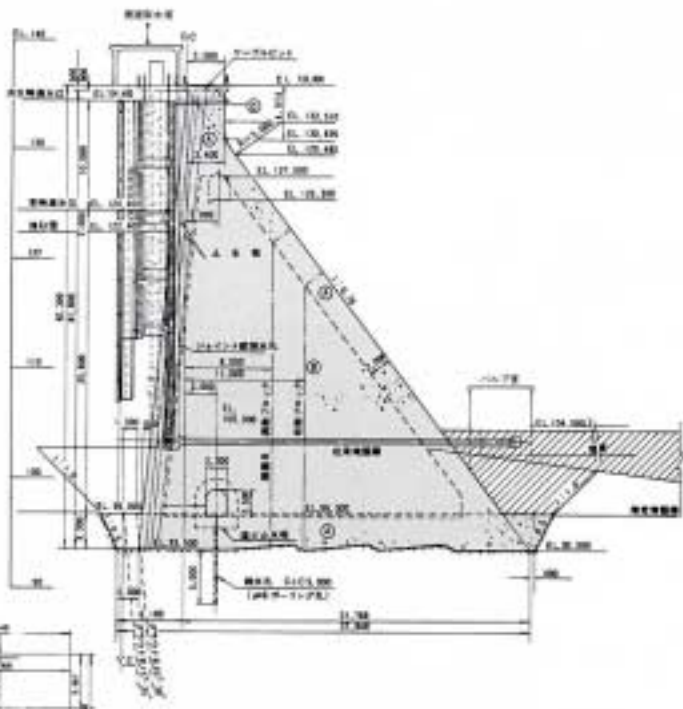
水没物件及付替道路

| | | | |
|-------|-----------------------|-------|----------------------|
| 田 | 41,422m ² | 付替道路 | 総延長2,014m 幅員5.5m |
| 畑 | 1,196m ² | | 橋梁 PC橋L=7.34m W=5.5m |
| 宅地 | 1,639m ² | 工事用道路 | 総延長1,025m 幅員4.0m |
| 山林及其他 | 170,566m ² | | 橋梁 鋼橋L=20.4m W=4.0m |
| 家屋 | 3戸 | | |

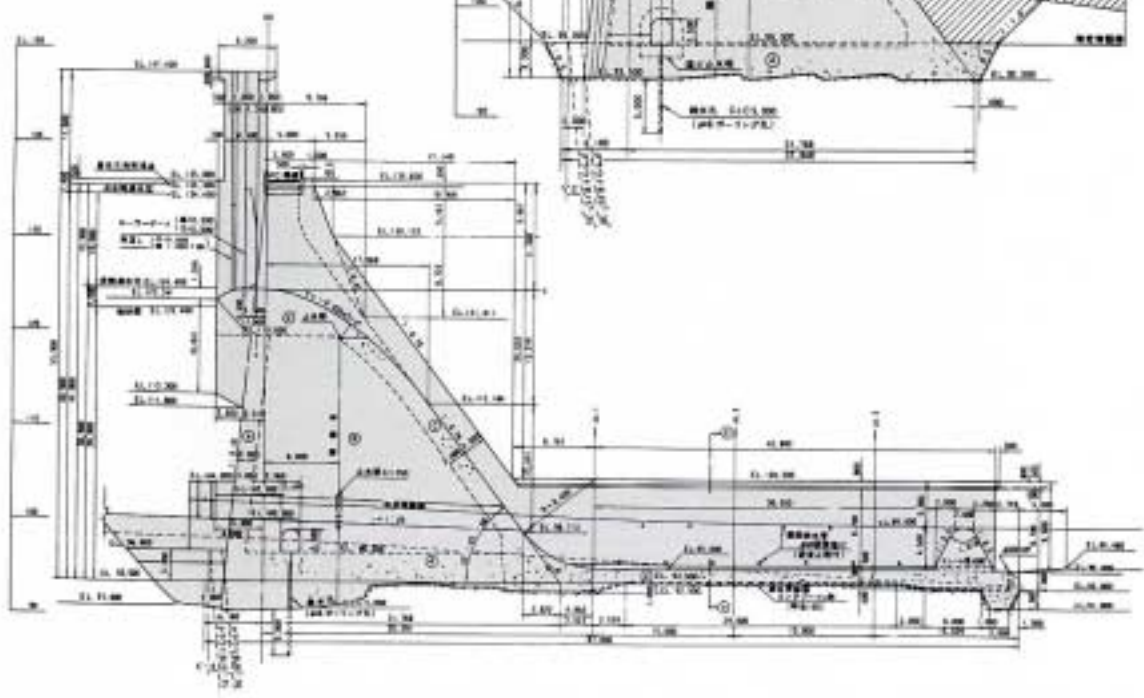
ダム下流面図



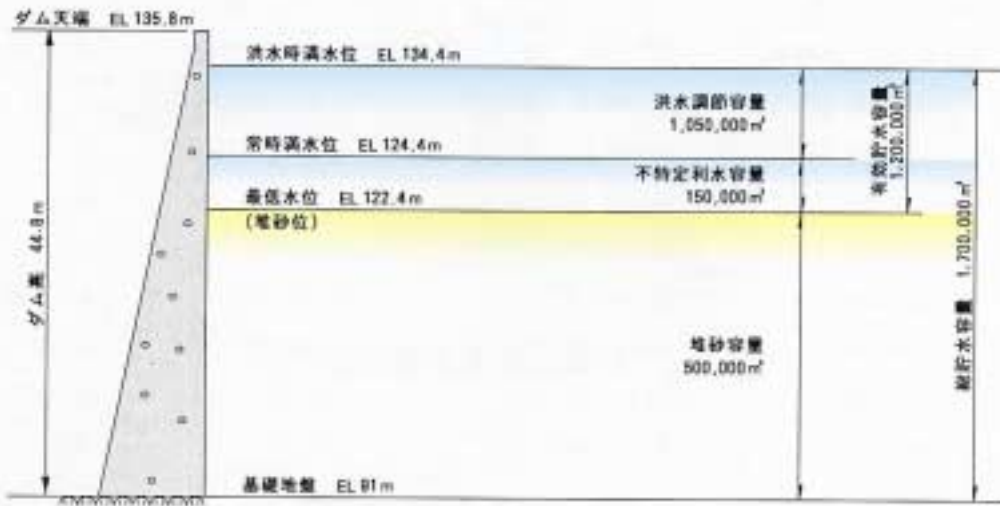
非越流部標準断面図



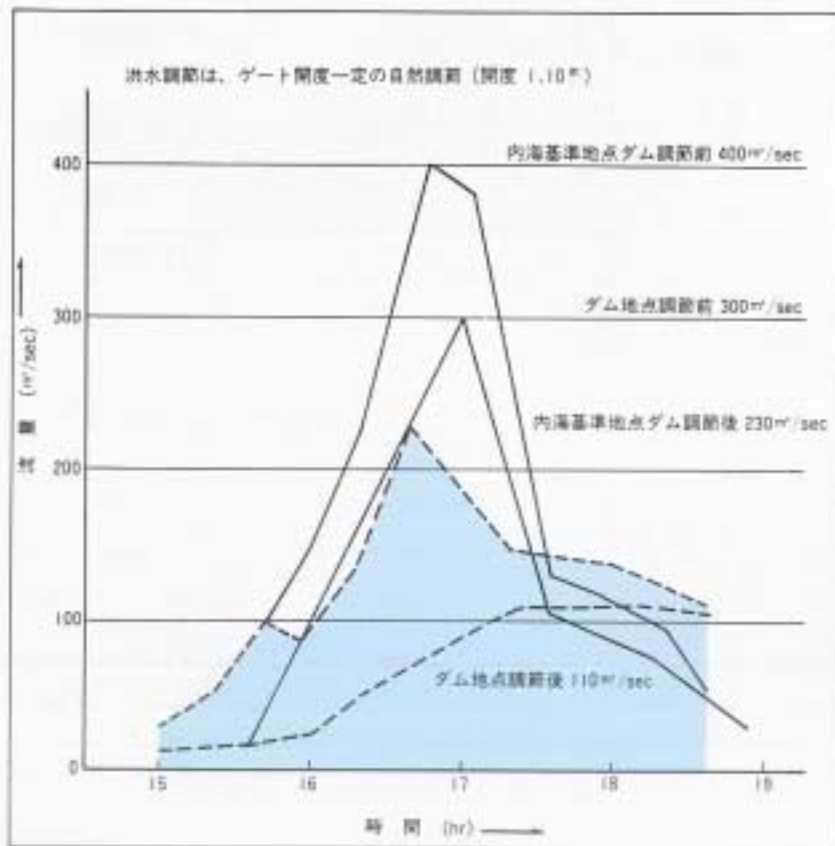
越流部標準断面図



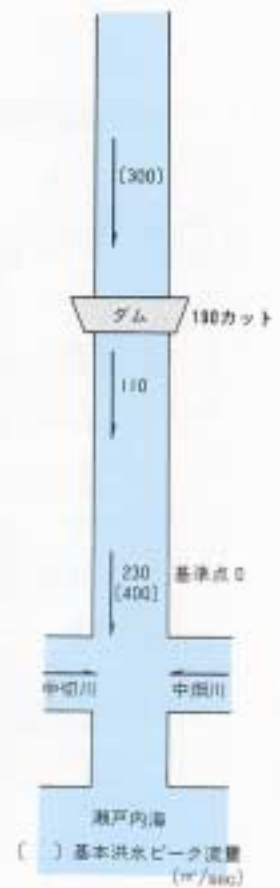
貯水池容量配分図



洪水調節効果図



流量配分図



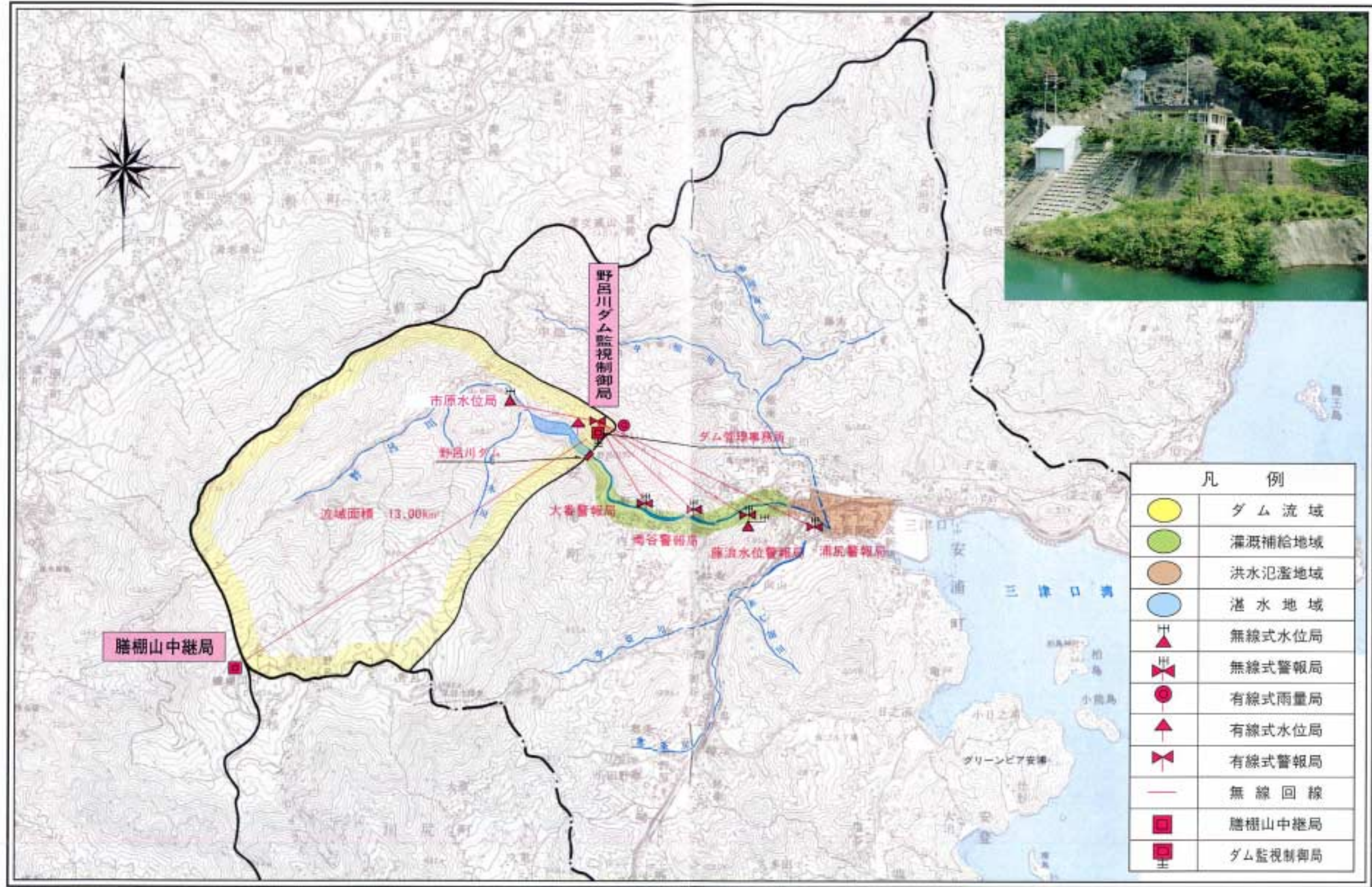


上流よりダムサイトを望む



ダムサイトより上流を望む

管理施設概要図



この地図は、建設省国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。 (承認番号 昭62中規第 216号)

1 : 50,000



ダム管理施設のあらまし



▲ 管理所(えん堤及び管理所附近)



▲ 操作卓



▲ 流木止網場施設



▲ 取水塔・放流ゲート・量水塔設備

■ 管理設備一覧表

| 種 別 | 名 称 | 構造及び形状寸法 | 数 量 | 設 置 場 所 | |
|---------------------|-------------------|---------------------------|--------------------|---------------------|------------------|
| 建 物 | 管 理 庁 舎 | 鉄筋コンクリート 2階建 | 171.6㎡ | 広島県豊田郡安浦町大字中畑641-11 | |
| | 電 気 室 | 鉄筋コンクリート 2階建 | 60㎡ | 管 理 所 | |
| | 新 車 庫 | 鉄骨平屋 | 35.5㎡ | ＊ | |
| | 角 落 し 格 納 庫 | 鉄骨平屋 | 47.5㎡ | ＊ | |
| | 車 庫 | 鉄骨平屋 | 35㎡ | ＊ | |
| 放 流 制 御 設 備 | グ ー タ 処 理 装 置 | ダム誌量処理装置・ゲート遠方操作 | 1式 | 管理事務所 | |
| | 制 御 用 計 算 機 | データ処理装置 | 1式 | ＊ | |
| 放 流 設 備 | 汎 水 吐 ゲ ー ト | ローラーゲート 高さ10.3m×幅10m | 1門 | 堤 体 部 | |
| | | 角落しゲート 高さ1.0m×幅10m | 7枚 | 堤 体 部 (管 理 所) | |
| | 表 面 取 水 設 備 | ローラーゲート 高さ5.1m×幅2.0m | 1門 | ＊ | |
| | | 取水口ゲート 0.82m×0.82m(φ0.7m) | 4門 | ＊ | |
| 放 水 バ ル ブ | ホロージェットバルブ φ0.6m | 1門 | ＊ | | |
| 電 気 設 備 | 受 配 電 設 備 | 高圧屋内乾式 6,600V | 1式 | 電 気 室 | |
| | 変 電 設 備 | 変圧器盤・分岐盤等 | 1式 | ＊ | |
| | 予 備 電 源 施 設 | 220V-50KVA | 1式 | ＊ | |
| テ レ メ ー タ ー 観 測 設 備 | テ レ メ ー タ ー 観 測 局 | 制御装置・制御卓 | 1式 | 管理事務所 | |
| | 野 呂 川 ダ ム 雨 量 局 | 有線・転倒型雨量計 | 1式 | ＊ | |
| | 水 位 観 測 局 | ム | 水研62型水位計 | 1式 | 堤 体 部 |
| | | 市 原 | 水圧式(71.R2MHz 1W) | 1式 | 広島県豊田郡安浦町大字中畑字市原 |
| | | 津 原 | 水研62型(71.R2MHz 1W) | 1式 | 広島県豊田郡安浦町大字内海 |



▲下流警報局



▲ダム放流警報所



▲放流設備(クレストゲート)

| 種 別 | 名 称 | 構造及び形状寸法 | 数 量 | 設 置 場 所 | |
|-----------------|---------------|--------------------------------|------------------------|---------|---------------|
| 放 流 警 報 設 備 | 放 流 警 報 制 御 局 | 制御装置、制御車71.82MHz 3W | 1 式 | 管理事務所 | |
| | 警 報 局 | ダ ム | 有線スピーカー50W×2 サイレン5.5KW | 1 式 | * |
| | | 大 番 | 無線スピーカー50W×2 サイレン3.7KW | 1 式 | 広島県豊田郡安納町大字原畑 |
| | | 南 谷 | 無線スピーカー50W×2 サイレン2.2KW | 1 式 | 広島県豊田郡安納町大字内海 |
| | | 藤 沢 | 無線スピーカー50W×2 サイレン2.2KW | 1 式 | 広島県豊田郡安納町大字内海 |
| | | 新 尻 | 無線スピーカー50W×2 サイレン2.2KW | 1 式 | 広島県豊田郡安納町大字内海 |
| 新 瀬 山 中 継 局 | | | | | |
| 放 流 警 報 表 示 板 | 警 報 標 識 板 | アルミ板(パイプ支柱) | 9 箇所 | ダム下流 | |
| 水 文 気 象 観 測 設 備 | 観 測 装 置 | 風向、風速、気温、水温、湿度、気圧 記録計(6打点式) | 1 式 | 管理事務所 | |
| 車 輛 及 び 船 舶 | 警 報 車 | 拡声器 無線装置付 | 1 台 | 管 理 用 | |
| | 巡 視 船 | L=3.66m 15PS 定員4名 | 1 隻 | * | |
| | 運 送 車 | ファミリーア | 1 台 | * | |
| 堤 体 観 測 装 置 | 埋 設 計 器 | 埋圧力計 27箇所 | 1 式 | 堤 体 内 | |
| | 漏 水 量 | 三角堰 | 3 箇所 | 堤 体 部 | |
| | 地 盤 計 | 傾斜計SM10B 2基 | 1 式 | * | |
| ダム・貯水池周防風設備 | 排 水 ポ ンプ | 水中ポンプ | 2 台 | 堤 体 内 | |
| | 流 木 防 除 設 備 | 網欄フロート式 | 170m | 貯 水 池 | |
| | 警 報 船 設 備 | 手巻揚機・船台車・軌道式 | 1 式 | 管 理 所 | |
| | 防 火 塔 | 耐火式(丸型)高さ1.5m 外径0.78m | 1 基 | * | |

ダム周辺環境整備概要図

ダム周辺環境整備の事業概要

ダム及び貯水池という新しい河川環境の創造に対し、その周辺に対し、河川敷地整備、緑化対策及び安全対策等の貯水池としての基盤的整備を実施することにより、周辺の自然環境との調和を図り、河川環境の改善を目的とするものであり、ひいては住民に水と緑の豊かな憩いの場を提供するために、昭和52年度に着手し、昭和57年3月までに1億2千万円の事業費で整備されたものである。



キャンプファイヤー、キャンプ場



運動広場



アヤマ池



カヌー練習



景石広場



花木広場



桜並木



ダム記念碑



“サンシャインプール”



浄念寺



“グリーンピア安浦ホテル”



野呂山 弘法寺(火渡式)



柏島神社大祭



稚児公園



* 湖岸はきれいに 水はみんなの財産です *

MEMO